

一関市：外国人就労者地域交流促進奨励金のお知らせ

25.05.28



外国人就労者と地域住民との交流を促進するため、令和6年度から新たに「一関市外国人就労者地域交流促進奨励金」を創設しました。

事業者が行う生活環境の改善や多文化共生の推進などの事業に対し、奨励金を交付します。

出典：<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/29,169907,67,html>

盛岡市：外国人労働者がふるさと紹介 民族衣装で交流会

岩手県内で働いている外国人が生まれ育った故郷の伝統衣装や食事などを岩手の人に紹介する交流会が1日、盛岡市で開かれました。

1日に開かれた国際交流フェスティバルは、労働者として海外から受け入れている県内の特定技能外国人や技能実習生などの生活をサポートしている盛岡市の支援団体が初めて企画したもので

外国人労働者と地域住民が交流する機会を設けようと用意された会場には、故郷の民族衣装を身に着けたミャンマーとインドネシア出身の12人が参加しました。それぞれ訪れた人にミャンマー伝統の菓子を試食してもらったり、一緒に記念撮影をしたりして楽しんでいました。

25.06.01



出典

: <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/ibc/1950016?display=1>

株式会社オヤマ

特定技能外国人にサッカーシューズを贈呈

25.06.02

一関市室根町の鶏肉生産加工販売業オヤマ(小山征男(いくお)社長)と東京都の人材派遣業スシボンバー(吉国雄大社長)は26日、オヤマに同日入社したインドネシア出身の特定技能外国人5人にサッカーシューズを贈った。生産年齢人口の減少で労働力確保が全国的な課題となる中、インドネシアで大人気のサッカーができる環境を提供し、長期定着と交流拡大を図る。



オヤマで開いた歓迎会で、同社の小山達也常務と吉国社長らが、インドネシア人が好むビビッドな色のサッカーシューズを贈呈。小山常務は「仕事ばかりではつらくなる日もあるだろう。国籍を超えてサッカーを楽しみ、ずっと働き続けてほしい」と激励した。